

## 三宮中央通り整備事業

受賞機関 神戸市

はじめに

三宮裏線は、神戸の中心地である三宮と元町を結ぶ延長約600mの市道で、神戸有数の商店街である三宮センター街と歴史的な街並みが残る旧居留地にはさまれ、沿道に商店とオフィスが混在する土地利用になっているが、平成6年から実施された「地下鉄海岸線工事」や近年の不況によるまちの活力が低下しており、活性化が望まれる地区であった。

このため、「まちの振興の起爆剤」として魅力ある道への再生を推進することとし、計画段階から沿道住民はもとより、広く一般の方々の意見を採り入れ道路事業としては神戸市で初めて、計画立案段階から地元と連携して整備を進めた。

以下に経過を示す。

(1) 平成11年8月～11月

「三宮裏線整備のアイデア募集」

学識経験者及び地元関係者で審査

・最優秀作：アーバンプラザストリート

(2) 平成12年4月～9月

「整備検討会」実施（実施計画策定）

(3) 平成13年2月～5月29日

「愛称募集」

・最優秀作：三宮中央通り



整備後の道路状況



模型による検討風景

アーバンプラザストリート

「南北間の連続性」(ゲートゾーン)、「東西軸の人の流れ」(インターセクションゾーン)と「たまり」(ストリートプラザ)を創出。

整備検討会の特徴

4商店街の有志、関係行政機関に加え、「神戸芸術工科大学(齋木教授)」にコーディネーターとして参加いただき、合計10回実施(内準備会1回含む)した。

(特徴)

- (1) 沿道住民の方であれば、誰でも参加
- (2) 毎回「三宮線ニュース」発行・配布
- (3) CGや模型を利用

おわりに

本整備は平成13年7月に完成し、住民の評価も非常に高いものとなっているが、さらに特筆すべきは、今回の整備をきっかけとして住民に街づくりを考える機運が芽生えたことである。

現在も、自主的に「建築物等の用途の制限」「屋外広告物等の規制」「敷地内の緑化」「定期的な清掃活動」などに努める「まちづくり協定」の締結に向けて、市民が主体となって検討を進めている。

受賞賛助会員 (株)大林組、大日本土木(株)、(株)竹中土木、戸田建設(株)、西松建設(株)